



三本桜

第41号

ふかく考える子 あたたかみのある子 がんばりのきく子
2月の目標：勉強の苦手を克服しよう

壁に直面したら・・・

令和7年度の登校日が30日を切りました。今年度の学校生活の終わりが近づいています。1～5年生は進級に向けて、6年生は卒業と進学に向けて、それぞれ区切りの時を迎えようとしています。

さて、目標を達成するには、子どもたちは様々な困難にぶつかることがあります。これは、学校生活に限ったことではなく、私たち大人であっても同様のことと思います。

この困難を、人はよく「壁」にたとえます。皆様は、この目の前の壁をどうしますか。「どうして、こんな壁が自分の前に現れたのだろう」「なんで自分ばかり、壁に突き当たるのだろう」「仕事でもプライベートでも、あちこちに壁がある・・・辛いな、逃げたいな」などと、思うことがあるでしょう。

私は、「壁」をいろいろな方向から見ることに、壁に向かう方法があると考えようとしています。壁は、「登る」「(乗り)越える」「横に避ける」「下がって道を変える」という方法で、クリアできます。

さらに、「壁を見ない」はいかがでしょうか。例えば、「周りの人は、私をどう見ているのだろうか」を、「私は、なぜ周りの人の目を気にしているのかな」と考えることは、「壁を見ない」という選択肢になると思います。こうして、目の前の壁をクリアできた時に、「自分の成長が感じられる」のです。「新しい自分になるために、壁が現れた」「人の前には、超えられる壁しか現れない」と捉えられるのです。

「成長のために、見方を味方にする」こんな考え方があっても、よいのではないのでしょうか。周りの大人の様々な見方が、子どもの目の前にある、壁のクリアのヒントになると思います。

感染症対策をお願いします

昨年10月から始まった今季のインフルエンザ流行は、年末にかけていったん落ち着くかに見えました。しかし年明け以降、感染者数は再び増加し拡大傾向に転じています。年末年始を挟んで今季2回目の流行局面に入ったとみられますが、今回の流行ではB型が多くを占める状況となっています。

(裏面へ)



例年より約1か月早く始まった今季のインフルエンザ流行。年末まではA型（A香港型）が大半を占めていましたが、現在は地域によってB型が優勢となっています。通常、B型は春先にかけて緩やかに流行することが多いとされていますが、今季はA型の流行が完全に収束しないうちに増加しており、例年とは異なる推移がみられます。

また、症状にも違いがあります。A型では高熱や関節痛、強い倦怠感などの全身症状が急激に現れやすい一方、B型では腹痛や下痢などの消化器症状を伴うケースが比較的多いとされています。また、B型は小児での感染が目立つ傾向があり、学校内での集団感染に注意が必要です。実際、学級閉鎖の数は2026年1月19日～25日（第4週）の時点で2,215校にまで増加しています。

今季は、すでにA型に感染した人でも、B型に再度感染する可能性があります。「一度かかったから大丈夫」と油断することはできません。本校でも、11月に閉鎖した学級が2月に2回目の学級閉鎖となっています。特に、子どもや受験生、重症化リスクの高い高齢者がいる家庭では、引き続きマスクの着用や手洗いなど、感染対策を徹底することが重要です。よろしくお願いします。

第2回 PTA 清掃ボランティアの募集について

11月に好評でしたPTA主催の清掃ボランティア活動を2月26日（木）に開催します。今回も主に子どもたちが使っているトイレの清掃を行います。

20名限定の企画です。申し込みは先着順とさせていただきます。詳細は2月4日に配信しました「すぐーる」に添付されたPDFをご覧ください。清掃活動後に給食試食会も行います。たくさんのご応募お待ちしております。

生活科「みんながつかうまちのしせつ」（2年生）

2月4日（水）、2年生がかわら美術館を見学しました。学校と三河高浜駅、高浜港駅と美術館の間は徒歩、三河高浜駅と高浜港駅の間を電車に乗りました。公道の移動、公共交通機関、公共の施設の利用にあたっては、マナーよく行うことができました。

